



キーポイント ヒーター付テーブル「ステルス」の製造

木製家具輸入及び製造販売。木製家具製造のノウハウを生かして、国内トップのヒーターメーカーからヒーターの供給を受け、「ヒーター付テーブル製造技術」を活用し、木製テーブルにヒーターの付いた製品群「ステルス」の製造販売を開始した。

業況等の動向について

異業種に参入した動機や経緯、きっかけ

「ステルス」は木製テーブルに赤外線ヒーターの付いた、暖房が可能なテーブル家具である。ヒーターユニットは取り外しができ、オールシーズンに対応が可能である。夏季冷房中の部屋でも足元だけを暖めるといった使い方も可能である。こたつ布団がいらないので、清掃も楽で清潔、スペースも広く使うことができる。「ステルス」はフローリング住宅や、テーブルでの食事が増えた現代の生活に応えた製品である。

この製品の開発に至ったのは、こたつ用ヒーターユニットの国内トップメーカーであるメトロ電気工業株式会社の役員の方が、昔からの知り合いであり、そちらから話があったことがきっかけであった。メトロ電気工業株式会社とのコラボレーションのもと、製造に踏み切った。

参入して最も成果のあったこと及び最も困難だったこと

成果のあったことは、ダイニングテーブルにヒーターをつけ、こたつ布団もいらないという、今まで世に無い斬新性がマスコミで取り上げられ、テレビにも登場して、商品PRができたことである。

困難だったことは、技術的にはテーブルが無垢天板であるため、ヒーターを接着させるということで熱の問題が発生し、塗装の問題等では苦労した。最終的には無垢の板に対する塗装方法を開発した。今までの木工加工で培った、木の性質を見極める技術や塗装技術を活用することができた。

業況等について

本業の業況はやや好調である。家具製造の中心はベトナムの姉妹会社でおこなっている。国産品と同水準のものを低価格で提供することができ、コストパフォーマンスの高い製品を提供している。ベトナムでの家具製造に関しては、OEMでかなり大手のものもやっている。

新規参入事業に関しては、現在、売上高 40,000 千円、売上高構成比 17~18%と、こちらは業況的に好調である。製品の斬新さがあり、宣伝効果により一般消費者に周知されるようになった。その影響で昨年より2割ほど売り上げが増加している。

今後の展望・見通し

今後は拡大方針をとる予定である。まだ全般的にPRが行き渡っていない点もあり、これからの宣伝余地が残されていると思う。商品構成も増やし、価格帯も増やせば、まだ売れると思われる。

メリット・デメリット

メリットとしては従来商品の木工テーブルにヒーターを付けることで、新しい商品を生み出すことができた。こういうコラボ商品がマスコミ等で注目されることにより、地場産業の家具業界も脚光を浴びることになったと思う。

デメリットは特に無い。

異業種参入時のアドバイス

電気製品業界に進出、ヒーターということで火災の心配もある。未知の分野に進出する際は組む相手を見極める必要がある。その業界に詳しく、信頼できる相手と組むことが重要である

行政の支援について

異業種参入に際し、役に立った行政、支援機関の制度使っていない

異業種参入に際し、行政に対して望む支援

新しい製品を展開するとなると研究開発費、知的所有権費用等かかるので、新しい製品に対するそれらの支援をお願いしたい。

会社概要

設立:平成8年9月

資本金:23,000千円

従業員数:13名

URL: <http://www.hidakagu.jp>